

## 慶應義塾大学の伊藤公平塾長が 湘南慶育病院を表敬訪問されました

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



2021年7月29日（木）、慶應義塾大学の伊藤公平塾長と常任理事の皆様が、湘南慶育病院を訪問。十分な感染症対策のもと院内視察が行われました。その時の様子をご紹介します。

今年の5月新たに就任された慶應義塾大学の伊藤公平塾長が、常任理事4名の皆様（北川雄光氏、山内慶太氏、岡田英史氏、土屋大洋氏）、加藤文俊大学院政策・メディア研究科委員長、高野仁塾監局長とともに慶應義塾大学及び藤沢市との連携で生まれた湘南慶育病院の視察に訪れました。



当日は湘南慶育病院の鈴木則宏院長と上杉看護部長、間山ディレクターがお出迎えをしました。



はじめに私から、湘南慶育病院に対する理解を深めていただけるように、病院開設までの経緯や設立の目的、理念などをお話ししました。

「湘南慶育病院の設立は、2014年に湘南藤沢キャンパス内に病院を作ってほしい、と健育会に依頼頂いたのがきっかけです。また、この地区は藤沢市が慶應義塾大学にだけ使用を認めた場所であったため、藤沢市、慶應義塾大学、健育会の三者協議を行い、無事病院設立が実現いたしました。

設立にあたっては、神奈川県黒岩知事にも後押しを頂きましたが、神奈川県は地域医療計画を踏まえて慢性期の病院を希望していました。一方、藤沢市は救急病院を希望したため、妥協案としてリハビリテーション病棟と救急医療を行うフロアを併設した病院となった次第です。現在はラボの運営も含めて慶應義塾大学と連携を取って運営しています。」



その後、鈴木則宏院長がスライドを使って病院の概要と、院内のフロア構成や診療体制、回復期病棟の設置機器やリハビリテーションへの取り組みについてご紹介しました。



また、湘南藤沢キャンパス(SFC)看護医療学部の看護実習の受入を行っていることや、SFCと共同研究を実施している遠隔診療「院内ネット診療センター」や、慶應義塾大学の学生が基礎研究から臨床研究までを行う「ヘルスサイエンスラボ」の説明を行いました。



その後、伊藤公平塾長から感想とご挨拶を頂戴し、院内視察を実施。はじめは、鈴木院長から紹介したヘルスサイエンスラボ（院内研究室）へ。



研究室の設立当初から携わっている慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの渡辺光博教授から、院内に設置されたヘルスサイエンスラボの概要についてご紹介し、SFCの学生と教員、医師が共同で行っている研究内容や成果、研究機器などについて説明しました。



その後、最新医療機器の揃ったOPE室と内視鏡検査室を見学し、視察は終了しました。



今回の訪問は新型コロナウイルス感染症拡大の只中ということで、限られた施設の視察となりましたが、大学と病院の相互理解にもつながり、非常に有意義な時間となりました。

